

## 先週のマーケット動向(6月26日～6月30日)

為替、株式

|         | Open     | High     | Low      | Close    | Chg    |
|---------|----------|----------|----------|----------|--------|
| USD/KRW | 1,308.0  | 1,323.7  | 1,298.1  | 1,317.7  | +13.5  |
| JPY/KRW | 9.1232   | 9.1300   | 9.0385   | 9.1140   | +0.014 |
| KOSPI   | 2,568.65 | 2,590.52 | 2,541.72 | 2,564.28 | ▲5.82  |

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。26日のドル/ウォンは1,308.0ウォンでオープン後、人民元安進行を受け、中国人民銀行が基準値を切り下げて公示するとドル/ウォンも連れて下落した。27日にはさらに中国政府による為替介入と見られる動きに人民元が上昇するとドル/ウォンは一時1,300ウォンを割れ1,298.1ウォンの週安値をつけた。一方で、28日からは反発上昇。月末にかけたウォン売り需要や外国人投資家らによる韓国市場からの資金流出によりドルが買い戻された。28日夜にはECB主催のフォーラムでパウエルFRB議長が今後連続した利上げの可能性を排除しないなどと述べると、年内追加利上げ期待が高まり米金利が上昇。翌29日には対アジア通貨でドル買いが強まるとともに、ドル/ウォンも上昇した。30日も底堅い推移が続き1,323.7ウォンの週高値をつけたものの、その後は月末による輸出企業のフローなどから上昇幅を縮小した。結局ドル/ウォンは前週末比+13.5ウォン上昇した1,317.7ウォンでクローズした。

## 今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はもみ合い推移を予想。先週末は米インフレ鈍化が意識されドル高が一服。今週は主に米・中において重要指標の発表を控えており、米経済のソフトランディングへの期待や中国経済に対する投資家の見方の変化によってドル/ウォン相場も上下しよう。

予想レンジ

| USD/KRW     | JPY/KRW     | USD/JPY       |
|-------------|-------------|---------------|
| 1300 ~ 1330 | 8.95 ~ 9.25 | 142.5 ~ 145.5 |

## \* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



## \* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



## 今後の予定

- 3日(月) 米 6月 製造業PMI 確報値  
欧 6月 製造業PMI 確報値  
米 6月 ISM製造業景況指数  
日 2Q 日銀短観
- 4日(火) 韓 6月 CPI
- 5日(水) 欧 6月 サービス業PMI 確報値  
米 5月 耐久財受注 確報値  
中 6月 総合PMI  
中 6月 サービス業PMI  
米 5月 製造業受注  
米 FOMC議事録
- 6日(木) 米 6月 サービス業PMI 確報値  
米 7月 失業保険新規申請者数  
米 6月 ISM非製造業景況指数  
米 6月 ADP雇用統計
- 7日(金) 韓 5月 国際収支  
米 6月 非農業部門雇用者数  
米 6月 失業率

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。